令和６年度　赤岡中学校　研究概要

研究主題：『自ら課題を持ち，主体的・自律的に学び続ける生徒の育成』

本校の課題である学力向上・不登校生徒，そして研究テーマである「自ら課題を持ち，主体的・自律的に学び続ける生徒の育成」を実現するためには，**授業づくり**はもちろん，その根底には一人ひとりが安心して過ごせる居場所があることが必須である。そのような居場所があってこそ生徒は安心して発言し，考えを深め合うことができると考える。そのため，**学級活動や行事**において一人ひとりが活躍し，それを認めてもらう取り組みを赤岡中学校全体で取り組んでいく。上記の研究主題を達成するために，赤岡中学校の教職員として取り組むべきことを，以下に示す。

・チーム会，チーム長会

授業改善・行事等を通して生徒の自尊感情を育む

・全校共通の取り組み

赤中スタンダードの授業づくり・各教科での取り組み・学力向上に向けての取り組み

① 授業の初めに提示する学習課題は，生徒の疑問から設定する。

② 自力解決の場面では，生徒自身が課題解決に向かって，資料などを用いて調べ・考え・説明するなどの作業を設定する。

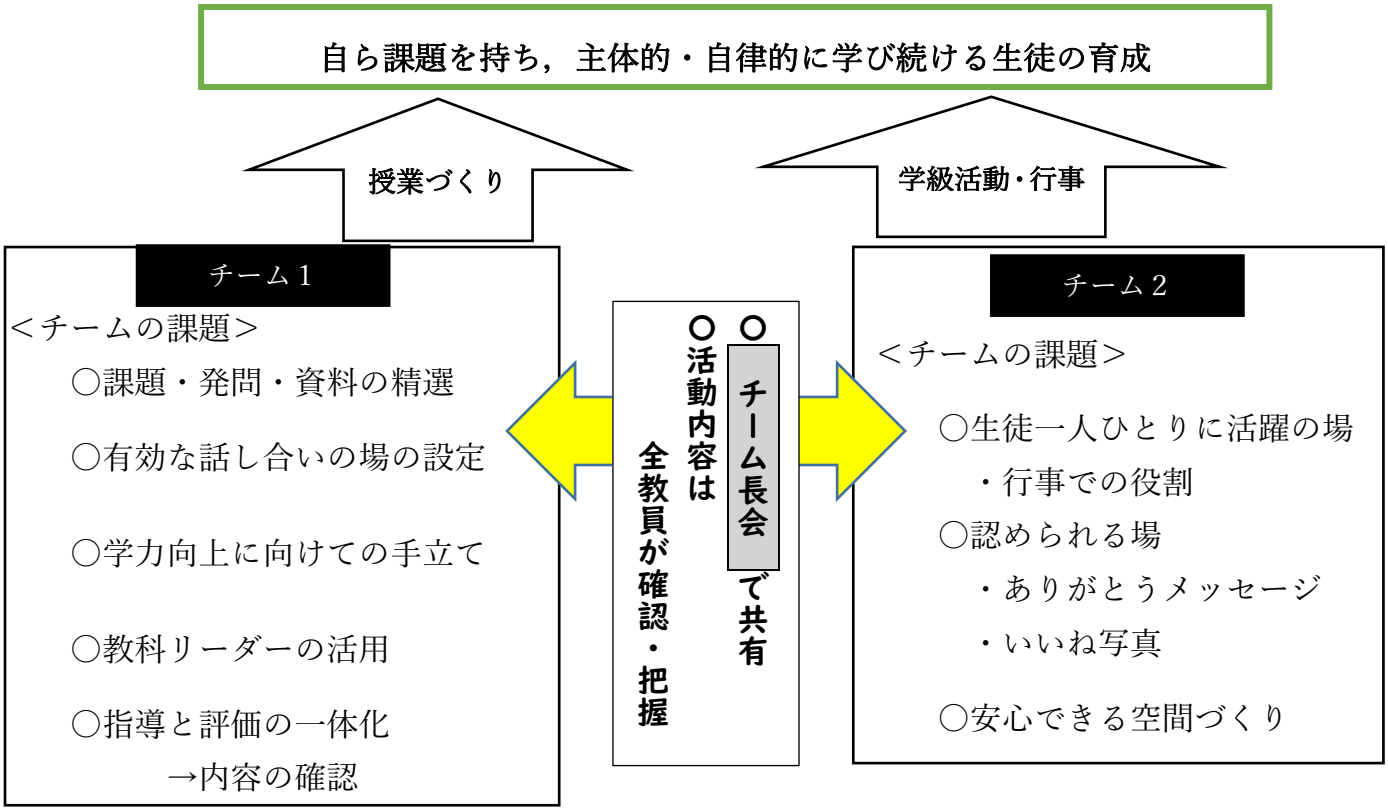
③ 集団解決では，調べたことや考えたことをグループで解決させる。また，探究的な課題を設定し，課題に対して深く学ぶ場面を設定する。

④ まとめ・振り返りを必ず行う。

学力保障のための家庭学習の改善

自主学習ノートを生徒自ら用意し，教科が指定した範囲を自主学習ノートの１ページ分を使って学習してくる。翌日の終学活の学習タイムに，自主学習ノートの範囲分のテストを行う。その際，満点以外は再テストを行う。

〇チーム会＜イメージ図＞



両チーム共通項目

●生徒の自尊感情を育む取り組みを

●全教員が研究授業２回/年，うち全校研を各チーム２回/年（人権・道徳・総合含む）

●各チームで（各チームの目標に沿った）参観授業をみる視点を決める。

例：5 教科……必然性があり主体的に取り組むことができる課題か
考えを共有し，生徒が考えを深める手立てか
技能教科…生徒同士が関わり合える手立てか
課題達成に向けて考えを深め共有できていたか

●成果の指標は毎学期行う魅力アンケートの「授業がよくわかる」「授業に主体的に取り組んでいる」「学校が好きだ」に対する生徒の今日肯定の割合で判断する。